



第6学年2組 総合的な学習の時間学習指導本時案

「水でつながる昭島市」

小単元④ 全70時間中の第49時

全学年の学習指導本時案

対 象：第6学年2組 32名

指導者：

(1) 本時の目標

「あきしまの水」のおいしさをお店に来た方々に再確認してもらうために、「あきしまの水」の良さを伝える方法を出し合い、その方法が適しているか検討する。

(2) 子どもの姿・手立て・期待する変容

前時までの子どもの姿	本時の目標に対する手だて	期待する変容
・「あきしまの水」を大切にすることは、良さやおいしさを感じながら「あきしまの水」を飲んだり使ったりすることだと考えている。 ・お店で出される水について意識調査を行うと「あきしまの水」を良いものと意識して飲んでいる人は少なかった。 ・「あきしまの水」を飲む人にどんなことを考えて飲んでほしいか、またその方法について本時で考える。	・座標軸を用いることで、カードを操作しながら、2つの視点で話し合わせる。 ・「パッと見てもらいたい⇒ゆっくり見てもらいたい」「サイズ 大⇒小」の座標軸に整理することで、お店ごとの特性を考えながら方法を選んでいくことができるようにする。	・「あきしまの水」の良さを伝えるために、自分たちにできそうなことが明確になり、次回にお店ごとにその方法を選択できるよう見通しをもつことができる。 ・「あきしまの水」の良さを伝える方法をお店ごとの特性を基に考えようとする思いが高める。

(3) 本時の展開

学習過程 (時間)	学習活動 ・予想される子どもの反応と活動	◎手だて ●評価
課題の把握	「あきしまの水」をお店で「おいしい」「素晴らしい」と思って飲んでもらうために、「あきしまの水」の良さを伝える方法を出し合い、その方法について検討しよう。	
めあて (2分)	1 めあての確認をする。 「今日の総合はどうしますか？」 ・前回のNEXTを確認する。 ・「あきしまの水」の良さを伝えるためのアイデアを出し合い、その活動が適しているか検討する。	◎めあてを立てる際は、児童の言葉で作り上げることで、自分たちで探究学習を進めているようにファシリテートする。 ◎前時の終末で次時の活動を児童と見通して掲示しておく。
見通し (3分)	2 学習の流れを決める。 「今日の流れと時間はどうしますか。」 ① 「めあて・ゴール」(5分) ② 「グループ」方法を出し合う(15分) ③ 「全体」全体で確認する(15分) ④ 「まとめ」めあてについて考える(3分) ⑤ 「NEXT」次時の見通しをもつ。(2分) ⑥ 「ふりかえり」(5分) 「この授業は何をどうしたらめあてを達成しますか。」 ・活動内容と目的について話し合えれば○。	◎本時の流れを児童と決定し、ホワイトボードに示して、見通しをもてるようにする。 ◎活動をカード化して児童の意見で柔軟に入れ替えたり付け足したりできるようにする。 ◎時間配分を児童と確認することで、活動中の時間の感覚をもたせるようにする。 ◎本時の評価基準を児童と確認することで、本時のゴールイメージをもって活動できるようにする。
学び合い① (10分)	3 「あきしまの水」の良さを伝える方法についてグループで話し合い、カードに記入する。 「あきしまの水の良さを伝えるためにどのような方法がありますか。」 ・キャッチコピー ・イラスト ・ラベル ・テーブル広告 ・店内放送 ・ポスター ・二次元コード ・壁新聞 ・説明文 ・動画	◎自分たちがお客さんだったらという視点で考えさせることで、活動内容がより明確となるようにする。 ◎今後、この活動の中から選択していけるよう、多くのアイデアが出るようにグループでの話し合いとする。

学び合い② (20分)	4 グループごとに出た意見を全体で共有しながら、整理していく。 「意見をどのように整理していきますか。」 ・「パッと見てもらいたい⇔ゆっくり見てもらいたい」「サイズ 大⇔小」の座標軸に整理しながら話を進めていく。 ・キャッチコピーを作れば伝えたいことはすぐに伝えられそう。 ・二次元コードに詳細を入れればポスターやテーブル広告にも入れられそう。 ・店内放送が伝えれば待っている人にも伝えられる。	◎座標軸を用いることで、カードを操作しながら、2つの視点で話し合わせる。 ◎座標軸を活用し、自分たちにできるか、「良さが伝わるか」の視点に基づいて、自分の考えた活動を比較できるようにする。 ◎比較して考えることで、それぞれの活動の良さが分かり、今後の活動で選択していく時の手掛かりとなるようにする。 ◎活動の意義や有効性など、児童の意見を書き込んでいく ●「あきしまの水」の良さを伝える方法について自分たちにできそうなことを出し合い、その活動が適しているか検討することができる。(発言・ノート)
まとめ (3分)	5 めあてを振り返って、学習のまとめをする。 「今日のめあては達成できましたか。」 ・達成できました。 ・自分たちのやりたい活動とできそうな活動がはっきりとしました。	◎児童の言葉でまとめを行うようにすることで、児童の学習としての主体的な学びを今後も展開していけるようにする。
NEXT (次時の見通し) (2分)	6 次時への見通しをもつ。 「次の時間はどうしますか。」 ・お店ごとの特色を確認し、活動内容を選んでいく。	◎児童の思いを汲み取りながら、次時についての方向性を決定する。 ◎それぞれ設定する課題が目的に沿って進められるようクラスで活動の目的をテーマ化する。(単元名を考える。)
振り返り (5分)	7 本時の学びについて振り返る。	◎本時で活用した教科についても振り返ることで、資質・能力を結ぶようにする。
次時	・お店ごとの特色を確認し、そのお店に適した方法を選んでいく。 ・お店ごとにお客さんが「あきしまの水」の良さを知っているのか分析し、お客さんに何を知ってほしいのか考えていく。	

【期待する振り返り】

今日は「あきしまの水」を「おいしい」「素晴らしい」と思ってもらうために、自分たちのできる「あきしまの水」の良さを伝える方法について話し合いました。「パッと見てほしい⇔ゆっくり見てほしい」「サイズ大⇔小」という視点で考えることで、それぞれの方法の良さが分かり、これからお店ごとに考えて方法を選んでいくことができそう。また、たくさんアイデアが出たので、これから選んだり組み合わせたりすることができそうです。

(4) 板書計画

